

投 稿 規 定

本誌「鳥取臨床科学研究会誌」は鳥取臨床科学研究会の機関誌であり、医学、医療、看護、介護、福祉等あえて領域は問わず、オリジナリティのある研究を幅広く受け入れ、一般の機関からの投稿を受け付ける。

1. 投稿者（つまり、筆頭著者）を含め、全ての著者において、本会の会員か否かを問わない。著者数は制限しない。
2. 他誌に発表されたのと同じ原稿は受け付けない。
3. 掲載された論文の著作権は、鳥取臨床科学研究会に属する。
4. 投稿論文の掲載の採否は、2名の査読者による審査を経て、編集委員会で決定する。編集委員会については前項に定める。1度目は査読者の意見に従って、2度目は編集委員会の意見に従って、責任著者に原稿の修正、加筆、削除を求めることがある。判定が困難な場合、2名以上の編集顧問の意見を聞くことができる。査読者2名のうち1名は、本誌編集委員長、編集委員、編集幹事や本研究会正会員以外の者とする（editorial peer review）。どの著者にも、査読者の名前は一切知らされない（匿名）。
5. 最終的な印刷の前に、編集顧問2名に助言を求めることにより、編集委員長が掲載の適切性の最終決定を行う。
6. 個人情報の取り扱いには十分留意し、「個人情報の保護に関する法律」を遵守した研究論文でなければならない。
7. ヒトを対象にした研究論文は、ヘルシンキ宣言の精神に則って行われたもので、具体的には、厚生労働省が定める「臨床研究に関する倫理指針」、文部科学省、厚生労働省、経済産業省が定める「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、文部科学省、厚生労働省が定める「疫学研究に関する倫理指針」を遵守したものでなくてはならない。原則として、筆頭著者もしくは責任著者が所属する施設内の倫理委員会の審査を受け、承認されたものでなくてはならないが、遺伝子解析や治験を除く小規模な症例解析研究に関しては、審査を受けていない論文も受け付ける。その際、査読期間中に迅速倫理審査を受けるよう求めることがある。

また、動物を用いた研究については、原則として、National Institute of Health Guide for the Care and Use of Laboratory Animals (NIH Publications No. 80-23)に沿って施行され、所属機関の倫理委員会にて審査・承認されたものでなければならない。

原稿作成の手引き

- (1) 原稿は日本語または英語を原則とする。
- (2) 論文の種類は、総説、原著、症例報告、その他の報告に分類するが、本誌では基本的にはどのような種類の原稿も受け付ける。
- (3) 原稿の長さはとくに規定しない。図表の数も規定しない。
- (4) 原稿は、原則として以下の構成とする。
 - A. 標題：和文標題に英文併記する。
 - B. 著者名および所属：和文表記に英文併記する。
 - C. 著者への連絡先：所属施設名及び電子メールアドレスのみで構わない。
 - D. 要旨：和文は400字以内で、その場合は400 words 以内の英文を併記する。欧文論文の

場合は 400 words 以内とする。

E. Key Words:5 個以内とし、日本語に英語併記する。

F. 本文の構成は、原著では、はじめに、方法、結果、考察、結語の順とする。症例報告は、はじめに、症例、考察、結語の順とする。また、総説やその他の報告の場合は、最初に、はじめに、最後に結語を記述する以外は、とくに規定しない。

G. 謝辞

H. 文献：参考文献は、下記の例にならい、引用順に番号をふって論文の最後一括して記載する。数は規定しない。和文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名は Index Medics の省略法に準じて記載する。以下に例を示す。

単行本：著者名（全員連書）．表題名．書籍名（編者名），pp. 頁-頁，出版社名，所在地，発行年

例 1) 守本研二，小西吉裕，東靖人．脳・神経・筋系の検査．．新検査診断学（柴田進監修，高橋浩，宮地隆興，大場康寛，上田智編集），pp. 291-310，金芳堂，京都，1988

例 2) Konishi, Y., Harano, T., Harano, K., Chui, D.-H., Gallyas, F., Jr., Shirabe, T., Tabira, T. Interleukin-3 as a neurotrophic factor for central cholinergic neurons: the function of interleukin-3 in perspectives on neural immune interactions. In: Brain and Bioedefence (eds. Oomura, Y., Hori, T.), pp. 185-204, Japan Scientific Society Press and Karger, Tokyo and Basel, 1998

雑誌：著者名（全員連書）．論文名．雑誌名，巻，頁-頁，発行年

例 3) 田平武，小西吉裕．脳内サイトカイン受容体．神経進歩，37，398-409，1993

例 4) Konishi, Y., Lindholm, K., Yang, L.-B., Li, R., Shen, Y. Isolation of living neurons from elderly brains using the immunomagnetic sorting DNA-linker system. Am. J. Pathol., 161, 1567-1576, 2002

(5) 原稿は A4 判用紙に、ワードプロセッサで作成する。和文の場合は、横書きで、専門用語以外は、ひらがなを基盤とし、現代かな遣いで、漢字は常用漢字のみとする。句読点は、和文でも、それぞれカンマ（，）と、ピリオド（．）を使い、括弧は全角、数字と欧文文字は直接入力すること。外国語の名称は、日本で一般化しているものは、できるだけカタカナを用いること。但し、固有名詞は言語のままでも構わない。和文論文文中での欧文文字の頭文字は、文頭も含め、固有名詞、独語の名詞以外は小文字が原則である。度量衡は CGS 単位とし、数字は原則としてアラビア数字とするが、ローマ数字が必要なときはこの限りでない。略号を用いて良いが、初出のときに完全な語を用い、括弧でくくって略号を記すこと。薬品、試薬名は一般名を用い、一般化しているものはカタカナで表記し、それ以外はアルファベットで構わない。年号は西暦を使用のこと。

原則として MS Word か WordPerfect にて、作成する。それを文書ファイルのまま、CD、MO に保存したものと、印刷したもの両方を提出する。本文は縦 2 段組とし、和文の場合、文字は MS 明朝、10.5 ポイントとし、1 段あたりは横に 23 文字前後、縦に 42 行とし、最下行は頁を付けるために開けておく。よって、実際の文章は 41 行となる。余白は上下、左右ともに 15 mm とする。欧文文字は Times New Roman とし、10.5 ポイントで記載する。全て英文の論文では、和文で

上記の枠組みを作成したうえで、アルファベットを書き込んでいくことを勧める。

最初の上段に論文名を MS 明朝、太字、14 ポイントで記載する。サブタイトルがその下に MS 明朝、太字、12 ポイントで記載する。その下に 11 ポイントで 1 行分空けて、著者名を MS 明朝、11 ポイントで各人の間を 1 スペース空けて連続して記載し（句読点不要、各人ごとに改行しない）、右肩に 11 ポイントで 1), 2) などとアラビア数字 (Times New Roman) を付けて片括弧でくくり、その下行に MS 明朝 11 ポイントで、1) や 2) などから始めて、所属を記載する。所属名は 1 施設ごとに改行する。その後、11 ポイントで 1 行分空け、英文タイトルは Times New Roman (ボールドでない) 14 ポイント (サブタイトルは 12 ポイント)、さらに 11 ポイントで 1 行分空けて英名の著者名、所属を 11 ポイントで記載するが、具体的なレイアウトは、掲載論文を参照のこと。以上のタイトル、著者名と所属名は中央揃えとする。その下に、Times New Roman にて、“*” で始めて責任著者の連絡先を記入し、該当の著者名の右上に “*” を付けること。

その下に、11 ポイントで 1 行分空けて、「要旨」の文字を MS 明朝、太字、10.5 ポイントで記載し、改行して、冒頭のスペースを設けずに要旨の文章を MS 明朝、太字、10.5 ポイントで記載し、さらにその下に英文の Abstract の文字を Times New Roman、ボールド、10.5 ポイントで書き、改行して左詰で Times New Roman、10.5 ポイントで要旨を書き始める。その下に、10.5 ポイントで 1 行分空けて、Key Words をまず日本語で (MS 明朝、10.5)、改行して英語で (Times New Roman、10.5) で記載する。

11 ポイントで 1 行分空けて、MS 明朝、10.5 ポイントで本文を書き始める。はじめに、方法、結果、考察、結語、謝辞、参考文献の見出しも 10.5 ポイントとするが、太字とする。見出しの後には、改行して冒頭はスペースを空けて書き始める。次の項目に移る際は 1 行分空けて、見出しを記す。

文献の引用は、本文での引用順に、該当場所の右肩に 11 ポイントで番号 (Times New Roman) を付けて片括弧でくくり、論文の最後に参考文献として一括して示す。私信と学会発表に関しては、参考文献としてではなく、本文の文中の該当場所に、両括弧の中に記すものとする。私信は、(私信、研究者名、所属名) として記し、学会発表は、著者は 1 名のみ記載し、あとは、ほか (et al.) とする。例は、小西吉裕、ほか、肥大型心筋症を合併し、イレウス症状を呈して死亡した Kennedy-Alter-Sung 症候群の 1 例、第 39 回日本神経病理学会、福岡、1998 とするか、Konishi, Y., et al. Cytokine expression profiles in Alzheimer's disease, and low and high pathology control brains. The 8th International Congress on Alzheimer's Disease and Related Disorders, Stockholm, 2002 等とする。

なお、cm、°C、ローマ数字 III などは、記号表の中の 1 文字の cm、°C、Ⅲなどを使わず、英字を 1 個ずつ Times New Roman でタイプすること。°C は、C の前に、アルファベットの O を書き、上付きにすると良い。また、ギリシャ文字、ロシア文字、アラビア文字などは、Symbol で記入すると文字化けするので、Times New Roman の中で記入すること。ドイツ語のウムラウトやエスツェット、フランス語のアクサン、トレマ、セディーユも同様である。また、丸数字も使用しない。

- (6) 図表は、原稿本文には挿入箇所を原寸大で空白としておき、その空白には、挿入される図、表の番号を赤字で記しておく。図や表は本文とは別に切り離して、論文として印刷される体裁にして、印刷したものと CD、MO 等に保存したものを両方提出すること。つまり、図（グラフ、写真、カラーも可）の場合は、TIFF、EPS、PDF、MS Office File (Word、Power Point、Excel)

でフォーマットし、カラーの場合は RGB を使用して作成すること。掲載順に図 1、図 2 などとし、図の下に、図の番号の後、1 スペース空けてタイトルを記し、改行して説明文を記載する。図の中のシンボル、矢印、略字についても説明すること。光学顕微鏡や電子顕微鏡写真には、右下にバーを記入し、説明文の最後に寸法を記載すること。また、症例の写真は個人を特定できないようにすること。個人を特定できるような写真が必要な場合は、原則として、著者が所属する施設の倫理委員会での審査・承認が必要である。表の場合は、MS Office File で描き、掲載順に表 1、表 2 などとし、表の上に表の番号の後に 1 スペース空けてタイトルを記す。説明は、表の下に記載する。記号や略字の説明も加えること。以上の図や表のタイトル、説明の文字は、MS 明朝か Times New Roman で、大きさは規定しないが、図や表の大きさとのバランスを考えて選ぶこと。

また、論文本文中では、上図、下表などという表現は使用せず、明確に図 2、表 1 などと明記すること。

- (7) レイアウトは編集幹事に一任のこと。
 - (8) 掲載料は原則として無料である。
 - (9) 別刷はないが、筆頭著者及び責任著者には掲載誌 1 部ずつと雑誌掲載論文の PDF を贈呈する。プリントした別刷の贈呈はない。
 - (10) 印刷前の校正は、原則として初校の 1 回のみ著者が行い、その後は、編集幹事に一任のこと。
 - (11) 投稿先は、鳥取臨床科学研究会編集委員会（〒689-0203 鳥取市三津 876 番地）とする。CD、MO の代わりに、電子メール添付での送信も受け付ける、その際のメール宛先に関しては、あらかじめ編集委員会編集部事務局 0857-59-0892（ダイレクトイン）で内線 748 に問い合わせることとする。
8. 査読は投稿規定第 4 項にあるように、editorial peer review を原則とする。査読者リストは、審査論文を特定しない形で、雑誌巻末にまとめて列挙する。
9. 編集実務を行う編集幹事を置く。
10. 英語校正に当たり、日本人の英語専門家を雇用し、全ての投稿論文の表題、抄録の英文及び英語論文の校正を依頼することができる。
11. 二重投稿と判明された場合は論文の取り消し、投稿禁止等の対象とする。

〒689-0203 鳥取県鳥取市三津 876 番地

独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター内

「鳥取臨床科学研究会」編集委員会

事務局電話 0857-59-0892 (ext. 748)